

情報コーナーに新しい図書が28冊入りました！

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『明治 大正 昭和 化け込み 婦人記者奮闘記』	平山亜佐子著	左右社	2023	070.1ヒ アカ	女性記者が号外には関係ない仕事に追いやられていた日本の新聞黎明期。変装潜入ルポである「化け込み記事」によって活躍した婦人記者たちの本音と葛藤、それぞれの企画を追う。
『なぜ少子化は止められないのか』	藤波匠著	日経BP 日本経済新聞出版	2023	334.3フ アカ	なぜ少子化となるのか、少子化は何をもたらすのか、私たちは何をしなければならないのか。若者の意識変化や現金給付の効果など、データ分析をもとに対話形式で解説する。
『女子が一食食べていける仕事選び』	上田晶美著	草思社	2023	366.3ウ ミズイロ	日本初のキャリアコンサルタントが、女性の仕事選びに今すぐ役立つ事柄に加え、今後の人生においてつねに意識してほしいことも伝授する。
『なぜ男女の賃金に格差があるのか —女性の生き方の経済学』	クラウディア・ ゴールディン著 鹿田昌美訳	慶應義塾大学 出版会	2023	366.3ゴ ミズイロ	1900年代から今日まで、大学教育を受けた女性たちがいかにキャリアと結婚・子育て問題と向き合い、どんな障壁に直面してきたかを論考する。著者は、今年のノーベル経済学賞を受賞。
『女性不況サバイバル』	竹信三恵子著	岩波書店	2023	366.3タ ミズイロ	コロナ禍の下での「女性不況」の現場をたどり、女性不況を深刻化させた6つの仕掛けを浮き彫りにするとともに、統計では見えにくい沈黙の雇用危機との闘い方を考える。
『家政婦の歴史』	濱口桂一郎著	文藝春秋	2023	366.3ハ ミズイロ	ある家政婦の過労死裁判をめぐる、日本の労働法制の矛盾に気づいた著者が、専業主婦の派遣業からはじまり、家政婦紹介所に至る家政婦たちの歴史を明らかにする。
『ジェンダー格差』	牧野百恵著	中央公論新社	2023	367.1マ ミドリ	就業、教育、歴史、結婚、出産などを取り上げ、ジェンダーに関する様々な思い込みがもたらす影響の大きさと、それらがジェンダー格差につながっているエビデンスを紹介する。
『男尊女卑依存症社会』	齊藤章佳著	亜紀書房	2023	367.2サ ミドリ	自分たちの社会がいかに男尊女卑の価値観に依存し、そのために多くの人が苦しんでいるのかを、「依存症」というフィルターを通して考察する。
『「AKK女性シェルター」から「DV防止法」 制定へ —1990年代フェミニズム・当事者主体の 女性運動記録』	波田あい子、内藤和美、 亀田温子著	かもがわ出版	2023	367.2ハ ミドリ	1990年代、初の当事者主導による暴力被害女性のシェルターを開設・運営し、「DV防止法」の制定に働きかけたAKK女性シェルターの活動とシェルター・ムーブメントの様子を伝える。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『占領下の女性たち 日本と満州の性暴力・性売買・ 「親密な交際」』	平井和子著	岩波書店	2023	367.2ヒ ミドリ	占領下におかれた日本全土と満州における性暴力の実態を明るみに出すとともに、戦後史の中に黙殺されてきた被害女性たちの生きざまを、資料と証言をもとに浮かび上がらせる。
『母の壁 子育てを追いつめる重荷の正体』	前田正子、安藤道人著	岩波書店	2023	367.3マ キイロ	働き、家事・育児も担う母親たちの生きづらさの背景にある「保育」「家庭」「職場」という3つの社会的障壁を、母親たちの声を引用しながら描き出す。
『最期はひとり 80歳からの人生のやめどき』	上野千鶴子、樋口恵子著	マガジンハウス	2023	367.7ウ ピンク	「家族のやめどき」「つきあいのやめどき」「自分のおりどき」などをテーマに、88歳と74歳の2人が語り合う、高齢期のあれこれ。
『おひとりさま[老後生活]安心便利帳』		扶桑社	2023	367.7オ ピンク	安心な老後生活を過ごすために、おひとりさま高齢者の日常生活から入院・介護、葬儀・相続までの心配事を解決する手段や支援を解説する。
『自分を生きるための〈性〉のこと 性と生殖に関する健康と権利(SRHR)編』	今井伸、高橋幸子著	少年写真新聞社	2023	367.9イ オレンジ	人間関係や性の多様性、ジェンダー、性暴力の防止なども含めた「包括的性教育」。その中で特に「性と生殖に関する健康と権利(SRHR)」についての内容を詳説する。
『トランスジェンダー入門』	周司あきら、高井ゆと里著	集英社	2023	367.9シ オレンジ	トランスジェンダーとはどのような人たちなのか。医療や法律からフェミニズムとの関わり、そして差別の現状まで、トランスジェンダーについての全体像をつかむことのできる入門書。
『「助けて」と言える社会へ ー性暴力と男女不平等社会』	大沢真知子著	西日本出版社	2023	368.6オ オレンジ	性暴力被害者の実態を社会に伝え、性暴力が生じるメカニズムを説明するとともに、性暴力のない社会をめざすことの重要性を訴える。支援団体のリストあり。
『勇気ある女性たち ー性暴力サバイバーの回復する力』	デニ・ムクウェゲ著 中村みずき訳	大月書店	2023	368.6ム オレンジ	コンゴの紛争による性暴力被害者に寄り添い、治療に尽力する産婦人科医が綴る自らの半生と、サバイバーに学び、性差別克服の道を探る活動の軌跡。
『プレ・シングルマザー手帖』	シングルペアレント101、 issue+design著	issue+ design	2023	369.4シ ピンク	DV、女性問題、金銭トラブル…。夫婦関係に困難を抱え、離婚を考える人たちに、離婚前後に直面する具体的な問題と対応策を示す。
『性差別の医学史 医療はいかに女性たちを見捨ててきたか』	マリーケ・ビッグ著 片桐恵理子訳	双葉社	2023	490.2ピ オレンジ	男性優位主義と誤った思い込みにより発展してきた医療の問題点を、様々なデータを用いて解き明かし、ジェンダー・バイアスから解放された、誰にとってもいい医療とは何かを問いかける。
『娘と話す、からだ・こころ・性のこと』	高尾美穂著	朝日新聞出版	2023	495タ オレンジ	母と娘が落ち着いて性や心身の悩みについて話せるように、知識や話し方をサポートする。母と娘の関係性を築ききっかけになることを願った一冊。
『90歳、ひとり暮らしの知恵袋 お金をかけない素敵な毎日の過ごし方』	大崎博子著	宝島社	2023	590オ キイロ	90歳で何気ない毎日を自由気ままに楽しむ著者。節約、デジタル生活、健康、おしゃれ、料理など、素敵に年齢を重ねるためのコツと工夫を紹介する。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『皆様、本日も家事育児お疲れ様です。』	竹田こもちこんぶ著	KADOKAWA	2023	599タ キイロ	男児4人のママ芸人である著者が、国のためでも、社会のためでもなく、1人の人間として子供を育てる魅力にハマった日々を綴る。
『ジェンダー目線の広告観察』	小林美香著	現代書館	2023	674.2コ ミズイロ	広告の中での女性像の扱いは、社会の中での女性の地位を如実に反映する。様々な事例をあげて、広告の中のジェンダー感を意識する必要性を説く。
『少女マンガはどこからきたの？ —「少女マンガを語る会」全記録』	水野英子、上田トシコ、 むれあきこ他著 ヤマダトモコ他編	青土社	2023	726.1ミ チャイロ	1950年代～60年代にかけて、少女向けの雑誌や単行本等で活躍した12名の作家による「少女マンガを語る会」。座談会で語られた、少女マンガ黎明期の貴重な記録集。
『「ピアノを弾く少女」の誕生 —ジェンダーと近代日本の音楽文化史』	玉川裕子著	青土社	2023	762.1タ チャイロ	「ピアノを弾く女性」を手がかりとして、近代日本でピアノが文化資本になった経緯、音楽文化がジェンダー規範とどのように結びついてきたかといった課題について言及する。
『フェミニスト紫式部の生活と意見 ～現代用語で読み解く「源氏物語」～』	奥山景布子著	集英社	2023	913.3オ チャイロ	「ホモソーシャル」「シンデレラ・コンプレックス」「ルッキズム」など、古典である「源氏物語」を、ジェンダーやフェミニズムの視点から読み解いていく。
『おひとりさま日和』	大崎梢、岸本葉子、 坂井希久子、咲沢くれは、 新津きよみ、松村比呂美著	双葉社	2023	913.6オ チャイロ	「ひとり住まいを楽しむ中で起きるほんの一幕のドラマ」をテーマにした、6人の作家による短編小説集。
『知ってる？ ジェンダー・セクシュアリティ マンガ カラフル Kids』	手丸かのこマンガ 渡辺大輔解説・監修	子どもの未来社	2023	K367.1テ ミドリ	ジェンダーやセクシュアリティについて、決めつけに疑問を持ち、自分の色や友だちの色を大切にしていくにはどうしたらいいかということ、マンガでわかりやすく解説し、考える。